

2018年度 日出生小学校 校内研究

1.今年度の研究テーマ

「自ら進んで学習に取り組み、考えを持ち、伝え合い、深め合う児童の育成をめざして」

2. テーマ達成のための取組方法

(1) 国語科を中心とした授業改善への取り組み

①単元を貫く言語活動のとらえ

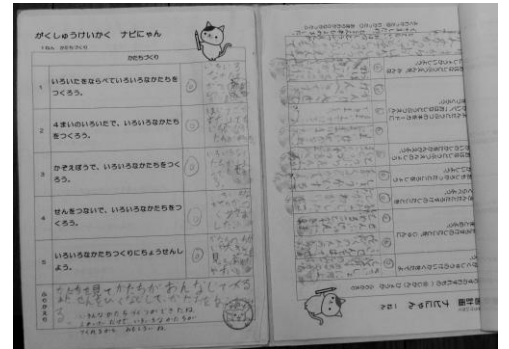
子どもが意欲を持って取り組める国語を中心とした授業展開

②一時間完結型の授業

- ・「めあて」「課題」「ふり返り」「まとめ」を使った授業
- ・見開き2ページのノートと一体化した構造的な板書の工夫
- ・見通しが持てわかりやすい授業

③児童の学習理解の把握(つきたい力の明確化)

- ・学習スケジュール(ナビにゃん)を作成し児童が単元全体の流れをつかむことができるようにする。
- ・毎時間自己評価で振り返りをさせる。



④自分の考えを書いてまとめる活動を取り入れ、考えを説明する場の設定

⑤互見授業の実施(教職員同士の授業改善に向けた取り組み)

- ・年2回の互見授業期間の設定(6月、10月)
- ・小中ペアで年2回のタンドム研修を実施(5月、1月)

⑥授業改善に向けたアンケートを実施

- ・児童の授業アンケートを年5回、教職員の授業改善アンケートを学期に一回実施、交流、検証する。

(2) 主体的に学習に取り組み、言語能力を高める学習環境づくり

①校内の掲示環境

- ・読書や調べ学習に対する意欲を喚起するコーナー、言語能力を高めるための掲示コーナーの設置
- ・掲示内容の工夫

②自分の考えを伝える場の設定

- ・行事、集会、委員会など日常的活動の中で、自分の考えたことを伝える場を仕組む。
- ・毎日、音読・月の歌に取り組ませ、声を出すことの気持ちよさを体感させる。

③家庭との連携

- ・音読カード(おんどっくん)により家庭学習での音読を継続することで保護者のわが子の教育に対する意識や関心を高める。
- ・朝読書や親子読書など家庭と連携し言語環境をつくる。

